

- 市民と市長との意見交換会の内容要旨
 令和元年11月17日 市民交流プラザIKODE瓦町
 テーマ 高松市の地方創生の取組について

| No | 御意見等 | 回答 |
|----|---|---|
| 1 | <p>15歳から19歳までの人口減少が著しいという高松市の現状の説明があった。</p> <p>おそらく進学が原因と考えられるが、これに対する市の対策を教えてください。</p> | <p>15歳から19歳までの世代の転出超過の傾向は、進学や就職を契機とした、若者の大都市圏への流出に歯止めがかかっていないことや、首都圏の雇用情勢が改善され、流出した若者等が戻ってこないことが考えられる。</p> <p>抜本的な対策としては、県内の高等教育機関のキャパを大きくすることだが、少子化の現状では難しい。</p> <p>このことから、県内の大学等と連携し、その魅力向上に資する事業を支援することで、進学先として選んでもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>また、県外へ転出した若者が就職や再就職の際に戻ってきてもらえるような魅力あるまちづくりを目指したい。</p> <p>そのためには、地元の優良企業をもっとPRし、若者に知ってもらう機会を増やしてまいりたい。</p> <p>現在、移住に関するポータルサイト「高松市移住ナビ」で情報発信を行うとともに、東京の渋谷には移住と就職に関する相談窓口「瀬戸・高松移住&キャリアサポートセンター」を開設し、Uターン人口の増加、移住者の増加に努めている。</p> |

| No | 御意見等 | 回答 |
|----|---|---|
| 2 | <p>Uターンし、高松で芸術活動しているが、活躍できる場が少ないと感じる。</p> <p>地元のアーティストが活躍する場を創出してほしい。</p> | <p>多くの人、特に若い人たちに選ばれるまちづくりとして、先ほど、仕事の視点で話したが、もう一つの視点で、住んで楽しいと思えるようなまちづくりも重要である。</p> <p>そのため、これまでの「創造都市高松の推進」にさらに力を入れ、文化芸術に力を入れていくことが重要であると考えており、今後施策を展開していくに当たって、地元のアーティストが継続して活躍できるようにすることも意識してまいります。</p> |
| 3 | <p>高松市内一人暮らしをしていたが、高齢になってきて、心配した娘の誘いもあり、娘や孫と一緒に暮らし始めた。</p> <p>とても便利な所で、自転車でまちなかや図書館などへ足を運ぶようになった。</p> <p>運転免許証は返還したので、ゴールドイルカを使って半額で公共交通機関を利用できるが、自転車だとお金もかからない。</p> <p>また、高齢者割引などの様々な権利を使うと、サンポート高松やレクザムホールなど、無料で楽しめる日もある。</p> <p>イベント情報などを手に入れるために新聞もよく読むようになった。</p> <p>今まで家で一日中テレビを見ていた生活から一転し、心も体も元気になってきた。</p> <p>感謝しています。</p> | <p>お話を聞いて、コミュニケーションが増え、自転車で運動することにより健康になり、様々なことに興味を持つことで脳も活性化し、豊かで元気な生活が送れるようになった結果ではないかと感じた。</p> <p>これからも、多くの皆さんが元気に暮らしていけるよう、介護予防の観点からも様々な施策を展開していきたい。</p> |

| No | 御意見等 | 回答 |
|----|--|--|
| 4 | <p>東京からUターンで戻ってきたが、東京にいたころには気付かない高松の魅力に気付くことがいっぱいある。</p> <p>市の目標にも、高齢者が健やかで心豊かに暮らせるまちを創るとあるが、設備だけではなく、心のユニバーサルも推進し、誰もが活躍できるまちにしてほしい。</p> <p>また、ICTなど、高齢者にはとっつきにくい項目であるが、みんなが使いやすくなるよう、工夫してほしい。</p> | <p>元気で活躍できる高齢者を増やすことは目標のひとつとしている。</p> <p>定年の延長など、社会的な見直しも必要になるが、高齢者が活躍できる地域社会にしていきたいと思います。</p> |